

会 議 録

作成者：政策秘書課 政策担当

1	会議の名称	令和2年度 第1回総合教育会議
2	開催年月日	令和2年 6月 2日(火)
3	開催場所	上野原市役所 庁議室
4	出席者	江口市長、野崎教育長、土屋すみじ教育委員、白倉亮子教育委員、 富田佳子教育委員、降矢俊彦教育委員 事務局：学校教育課 安藤課長、関戸リーダー、織田リーダー、河野、杉本 事務局：社会教育課 志村課長、川田リーダー 事務局：政策秘書課 守屋課長、卯月リーダー、大神田
5	司会者	守屋政策秘書課長
6	会議内容	1 審議・協議事項 【社会教育課】 (1) 学生支援について 【学校教育課】 (2) オンライン学習の推進について ～子どもたちの学びを止めないために～ ・概要説明 ・学習コンテンツの紹介 ・オンライン会議（市長と各小中学校長とのオンライン会議） ・意見交換
7	時間	午前10時30分 ～ 午前11時53分
8	会議の経過及び議事の概要	
1 開会		
2 市長あいさつ（抜粋）		
<p>市内小中学校では、新型コロナウイルス感染症の影響により3月3日から約3か月間、臨時休校をお願いしました。児童生徒や保護者のみなさん、先生や教育委員のみなさんには、はじめての対応に苦慮されたことと思います。また、対策本部会議では、図書館、小中学校など教育施設の再開時期を検討してきたところではあります。そのような中、緊急事態宣言の解除や市内・近隣自治体の感染者発生状況を総合的に判断し、先月22日(金)に段階的に自粛等を解除していくことを決めました。</p> <p>昨日6月1日(月)に小中学校の通常授業が再開されたところではありますが、これまでの数か月間以上にこれからの数か月間は、子どもたちにとって重要な時期になっていきます。市では、高校生や大学生のみなさんが学業の継続を行えるよう、市の独自施策を企画しています。本日の総合教育会議では、そのような点もご</p>		

理解をお願いしたいと思います。また、新型コロナウイルスの第2波や地震・台風などによる臨時休校も想定されるなか、オンライン学習の早期整備やICT環境の整備についても、委員のみなさんからご意見をいただきたいと思います。今後につきましても、感染症への警戒を緩めることなく新しい生活様式の定着に努めるとともに、健康管理には十分留意しながら、なお一層のご支援とご協力をお願いします。

3 教育長あいさつ（抜粋）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う小中学校の臨時休校等の判断につきましては、隣接する東京都や神奈川県状況を見た中で、早めの判断を行う事ができました。また、小中学校におきましては、学校側の準備や保護者への理解もスムーズに進めることができました。昨日から小中学校では、通常授業が再開しています。また、社会体育施設等においても市民限定で一部を除きますが運用再開となっています。経験したことのない感染症という未曾有の出来事のなかで、教育委員会としましては、学校等の正常化に向けた取り組みやコロナウイルス感染拡大の第2波・第3波に備えた対応を今後も進めていきます。

本日の会議は、コロナの対策に係わる学生支援とICT教育の推進を議題とさせていただきます。教育委員会におきましても、市長部局と十分協議を行う中で、教育諸課題に取り組んでいきたいと考えています。市長におかれましては、教育委員会ともどもさらなる教育施策の推進にお力添えをお願いします。

4 議事

<議事内容>【議長：江口市長】

(1) 学生支援について【社会教育課 志村課長・川田リーダー】

[概要説明]

- ・大学生等応援事業補助金
- ・高校生応援事業補助金

[主な意見等]

【土屋教育委員】良い取り組みだと思いますので、ぜひ宜しくお願いします。

(2) オンライン学習の推進について【学校教育課 安藤課長・織田リーダー】

[概要説明]【降矢ICTアドバイザー】

- ・オンライン学習の推進 ～子どもたちの学びを止めないために～
 - ①「学びを止めない」ための方策
 - ②上野原市にけるオンライン学習の計画
 - ③オンライン学習コンテンツ
- ・オンライン会議（市長と各学校長とのオンライン会議実施）
- ・市長、教育委員意見交換

[主な意見等]

【土屋教育委員】オンライン会議で校長先生からは、オンライン学習の教材などを先生たちが作

る際、とても時間がかかり先生の負担になるとの話がありました。ただ、多くの先生が既存のコンテンツを使って進めていけば問題ないという話も一方ではあります。もう一つは、オンライン上ではなく、直接、子どもと関わり合いながら指導していくことの大切さとオンライン学習とのバランスをどうとっていくかが課題になっていくと思います。このような点を今後どうやって解決して行けばよいのかと感じました。英語の学習教材をみんなで協力して作成したという話や臨時休業中に各中学校の先生が集まって協働してプリント学習の教材を作成したという話もあります。このような取り組みを今後のオンライン学習に生かしていければと感じています。また、ICTの推進によって教育格差が生まれないように取り組んでいかなければならないと感じました。

【富田教育委員】補正予算の中に、Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し出すための予算が計上されていますが、ネット環境のない家庭は、月に4000円～5000円の通信料がかかります。通信料を払えない家庭はモバイルルーターを借りても家庭でオンライン学習ができない問題があります。この点についてどのように考えていますか。

【江口市長】保護者の経済的な負担にならないように、担当課で検討しているのでご理解いただきたい。

【白倉教育委員】オンライン学習がスタートするまで先生の負担が大きいと思うが、いざスタートすれば、先生たちの負担も徐々に改善されていくと思いますので、今後に期待しています。

【降矢教育委員】オンライン会議による校長先生のお話を聞いて双方向性、想像力、協働の3つのキーワードがありました。これらは学校だけの問題ではなく、教育委員会と学校、行政と教育委員会、学校との関係性から生まれるものだと考えています。15時間かけて一つの学習コンテンツを作るという話がオンライン会議の中でありました。そのコンテンツを1回の授業で使えば15時間となりますが、多くの先生がそのコンテンツを使ったら、15回使って1時間というような考え方も出来るのかもしれませんが、そういう発想を教育委員会から先生たちに投げかけて協働でやっていく、また、教育委員会と学校が双方向性をもってやっていくということが、先ほどの3つのキーワードに繋がっていくのだと考えています。想像力をつけるということは正解が一つではない世の中を子どもたちが生きていく中で、多くの人が納得できるようなものを見つけていく力になっていくと思います。その辺を育てていくような行政、学校になっていければと考えています。

【江口市長】「学びを止めない」ことが大切です。学びを止めないために新しい教育のあり方を模索し、行政、教育委員会、学校が積極的に新しい教育のあり方に取り組んで行くことが必要です。想像力を高めていけるような人材を輩出していくことと同時に教育格差をなくすということ、それから子どもたちと先生たちが臨時休校中であってもオンライン学習を通じてコミュニケーションが図れるということは、素晴らしい取り組みであり計画だと思しますので、ぜひ、

これらの事業が成功し、行政と教育委員会、学校が一体となって教育施策を進めていくことができるように、みなさんの協力をお願いします。

5 その他

・特になし

6 閉会